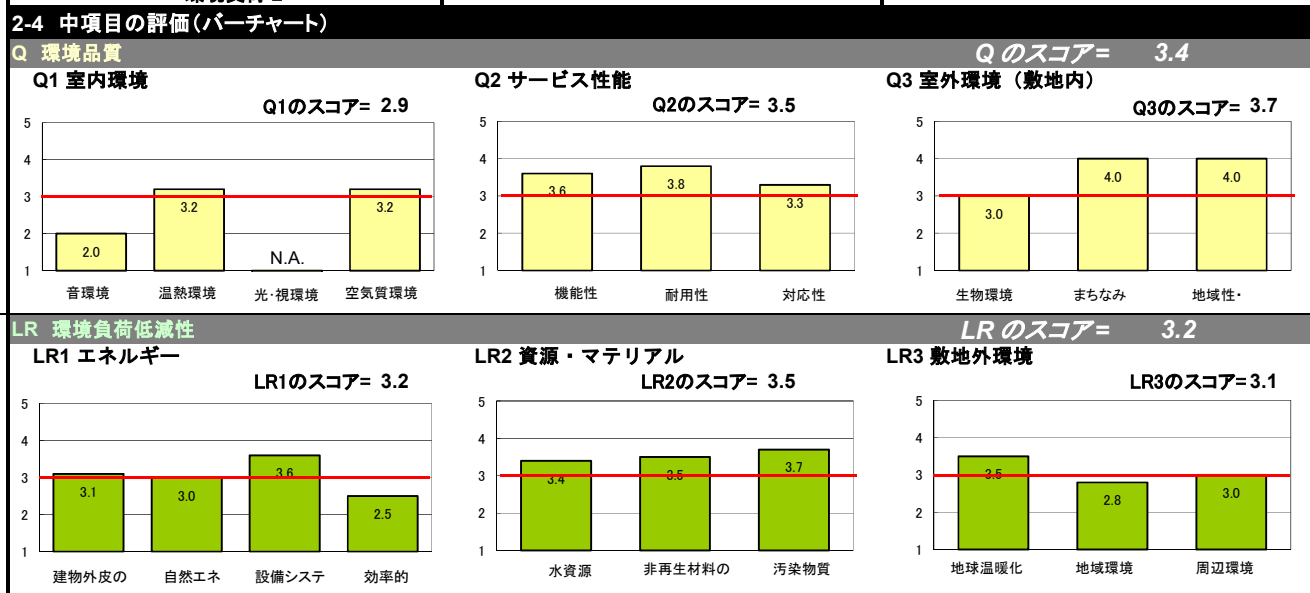
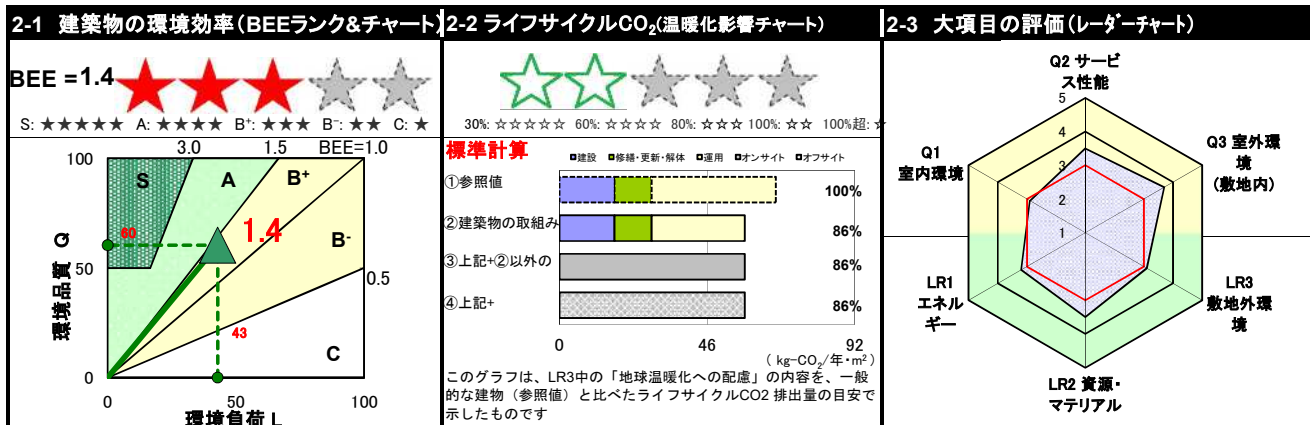


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜松市斎場再整備事業 浜松斎場	階数	地上2F、地下1F
建設地	静岡県浜松市中央区中沢町47-1	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	集会所、工場、	評価の段階	
竣工年	2028年6月 予定	評価の実施日	2025年2月18日
敷地面積	5,804 m ²	作成者	石田賀之
建築面積	2,918 m ²	確認日	
延床面積	3,282 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
外観や内装はもちろんのこと、利用者や地域への想いに寄り添う設計コンセプトとなっている		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外界からの熱的侵入を大きく抑制する外壁構成および窓システムを採用。 また、空気室を汚染する建材を極力使用しないことで、建物利用者の健康、快適性を高める室内環境を実現して	内装コンセプトをしっかりと定めることで、利用者の居心地の良さを実現。 また、主要設備機器のダクト配管の耐久性を高めることで、永くよりよい状態で建物を使い続けられるよう配慮してい	周囲の風土と植生をしっかりと把握し植栽計画を実行。 また、古くから「葬送の丘」であったこの地をその地域性を大切にランドスケープを重視した設計となっている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物の熱負荷抑制、設備システムの省エネ化、ともに基準をクリアし、設備システムにおいては25%削減を実現。	非再生性資源の使用量を削減するため、リサイクル材を採用。また、解体時における再利用も考えた設計となっている。	法規を遵守し、地球環境・周辺環境に及ぼす影響を低減するよう配慮している。また、ライフサイクルCO ₂ 削減15%を達成。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要

建物名称	浜松市市場再整備事業 浜松青場 新青場建設工事	BEE	1.4	BEEランク	B+	★★★
------	-------------------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点		取組み度		評価	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.5	/5			ふつつ	
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.6	/5			ふつつ	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	4.3	/5			よい	
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	3.2	/5			ふつつ	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上 	ふつつ 3 点以上 	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目					
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点				3.5	
	■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ②③外装スクリーンを採用し、自然光をほどよく取り入れながらも、視線や日射等を抑制	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	屋光利用設備
				3.2	3.2.1	③	屋光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
				2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
				2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
				2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
				2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔	
		■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥コンセプトに沿った植栽計画で周囲の緑と調和するような外構植栽計画	Q-3	1			⑤
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑧自然通風による自然エネルギーの利用 ⑨LED照明の採用	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
			2			⑧	自然エネルギー利用
			3			⑨	設備システムの高効率化
			4	4.1		⑩	モニタリング
				4.2		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型便器の採用や自動水栓による節水 ⑫再生骨材の路盤材利用、エコマークを取得したボードやビニル床材の利用 ⑬ノンフロン断熱材の利用	LR-2	1	1.1		⑪	節水
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
					1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
			2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減
					2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用
				2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
				2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
				2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材	
				2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用	
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤	
				3.2.2	⑬	断熱材	
				3.2.3	⑬	冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭省エネルギー対策 ⑮主風向に対する見付面積比を32%以下、隣棟間隔指標4以上	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮
			2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点				3.6	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯50%増しの耐震性の実現 ⑰ステンレスダクトの採用	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
					2.1.2	⑯	免震・制振性能
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
					2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
					2.4.3	⑰	電気設備
					2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
					2.4.5	⑰	通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点				4.3	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑階高4.0m以上のゆとりを実現	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
			3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり
					3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮) ㉒古くからのイメージを受け継ぎつつ、豊かな自然の形成や地域性の取り入れ また、浜松の文化や歴史などの特徴、市民の意見を取り込んでいる	Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点				3.2	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ㉗木漏れ日をつくる高木の足元に、白い花を咲かせる中低木を植栽し地面をマウント ⑥コンセプトに沿った植栽計画で周囲の緑と調和するような外構植栽計画	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
			2			㉓	まちなみ景観への配慮
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮主風向に対する見付面積比を32%以下、隣棟間隔指標4以上	LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善